



Amazon S3ストレージのドキュメント

Amazon S3 storage

NetApp
February 23, 2024

目次

Amazon S3ストレージのドキュメント	1
BlueXPのAmazon S3ストレージの新機能	2
2023年3月5日	2
はじめに	3
Amazon S3 バケットの表示	3
S3 バケットを管理する	5
S3バケットを追加	5
S3バケットの設定を変更します	6
S3バケットでネットアップデータサービスを使用	9
知識とサポート	10
サポートに登録します	10
ヘルプを表示します	14
法的通知	20
著作権	20
商標	20
特許	20
プライバシーポリシー	20
オープンソース	20

Amazon S3ストレージのドキュメント

BlueXPのAmazon S3ストレージの新機能

BlueXPのAmazon S3ストレージの新機能をご紹介します。

2023年3月5日

BlueXPから新しいバケットを追加できるようになりました

BlueXP CanvasでAmazon S3バケットを表示できるようになりました。BlueXPから直接、新しいバケットを追加したり、既存のバケットのプロパティを変更したりできるようになりました。"[新しいAmazon S3バケットを追加する方法をご覧ください](#)"。

はじめに

Amazon S3 バケットの表示

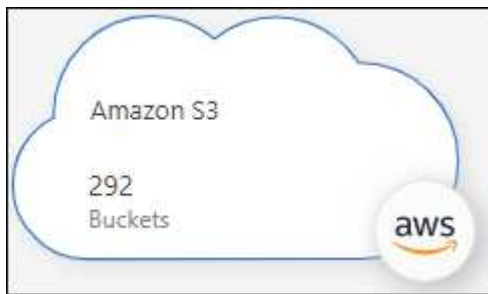
コネクタをAWSにインストールすると、コネクタがインストールされているAWSアカウントにあるAmazon S3バケットに関する情報がBlueXPによって自動的に検出されます。Amazon S3作業環境がCanvasに追加され、この情報を表示できるようになります。

リージョン、アクセスポリシー、アカウント、合計容量と使用済み容量など、S3バケットに関する詳細を確認できます。これらのバケットは、BlueXPのバックアップとリカバリ、BlueXPの階層化、BlueXPのコピーと同期の処理のデスティネーションとして使用できます。また、BlueXPの分類を使用してこれらのバケットをスキャンすることもできます。

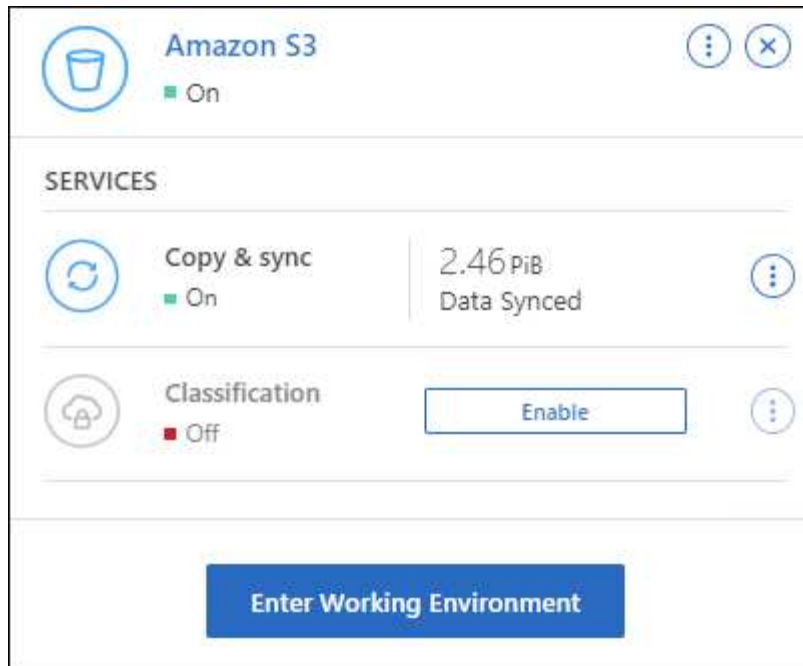
手順

1. "コネクタを取り付ける" Amazon S3 バケットを表示する AWS アカウントで実行します。
2. ナビゲーションメニューから、*ストレージ>キャンバス*を選択します。

しばらくすると、Amazon S3の作業環境が自動的に表示されます。



3. S3ストレージでBlueXPサービスを有効にする場合は、作業環境をクリックし、右側のペインから操作を選択します。



"利用可能なBlueXPサービスを確認し、S3バケットでそれらのサービスを使用する方法を確認します"。

4. AWSアカウントのS3バケットに関する詳細を表示するには、*[Enter Working Environment]*をクリックするか、作業環境をダブルクリックします。

Bucket name	AWS account	Region	Creation date	Encryption	Is Public	Size	Total Objects
demo-tveng	75999547	US East (N. Virginia)	November 8, 2021	Disabled	Objects can be public	8.24 GiB	7
amir-occm	75999547	US West (Oregon)	December 28, 2021	Enabled	Objects can be public	3.32 GiB	14
appstream-app-setting	75999547	US East (N. Virginia)	August 16, 2021	Disabled	Objects can be public	0 B	0
appstream2-36fb080b	75999547	US East (N. Virginia)	March 19, 2019	Disabled	Objects can be public	0 B	0
aws-sam-managed	75999547	EU (Ireland)	November 17, 2020	Enabled	Objects can be public	504.7 KIB	2

デフォルトで表示される列のほかに、ページをスクロールしてバケットのその他のプロパティ（タグの数、オブジェクトロックとバージョン管理のどちらが有効になっているかなど）を確認できます。

次のステップ

一部のバケット設定は、をクリックしてBlueXPから直接変更できます ... バケツのために。"詳細については、こちらをご覧ください"。

新しいS3バケットを追加するには、*[Add bucket]*をクリックします。"詳細については、こちらをご覧ください"。

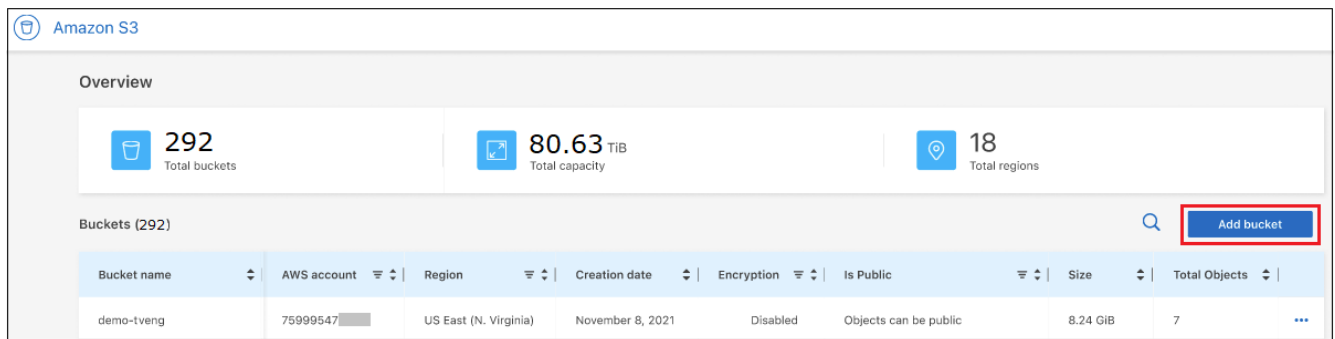
S3 バケットを管理する

S3バケットを追加

Amazon S3作業環境がキャンバスに表示されたら、BlueXPから直接バケットを追加できます。

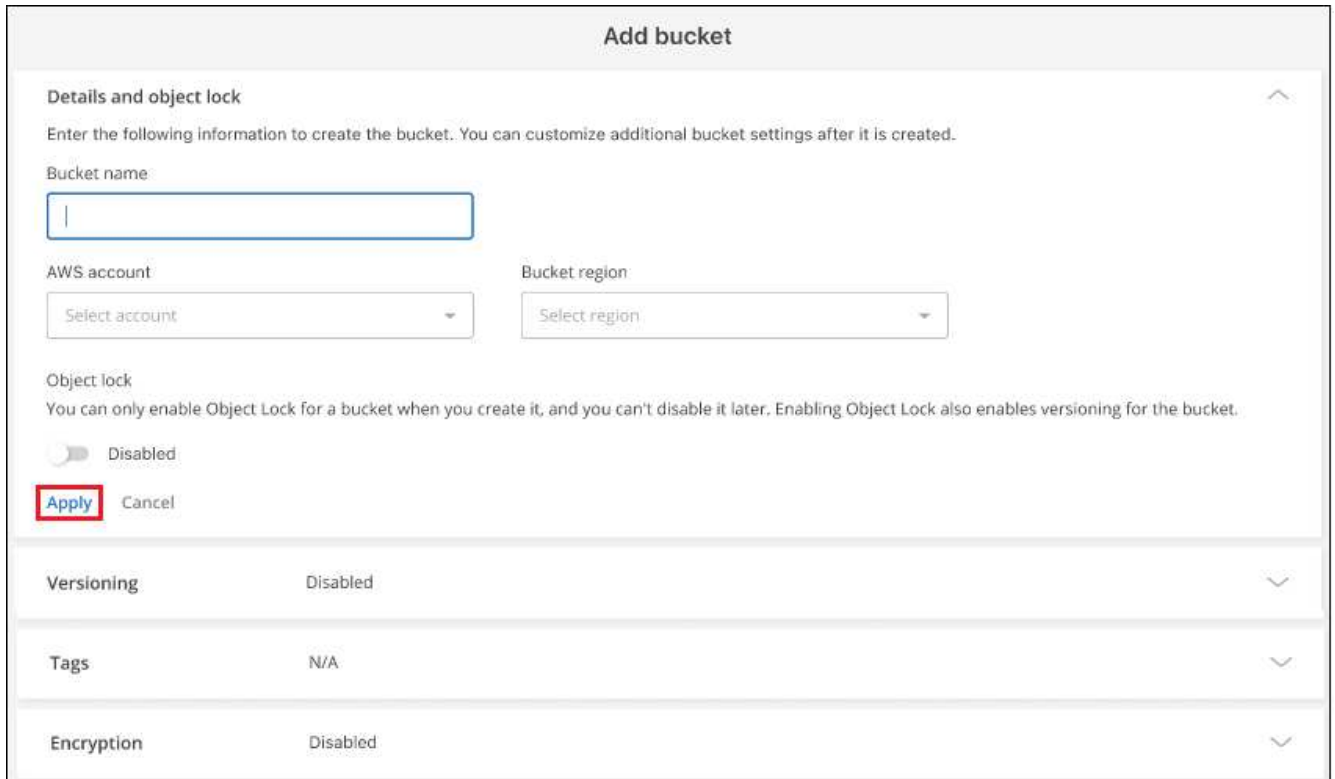
手順

1. Canvasで、Amazon S3作業環境をダブルクリックしてAmazon S3バケットの概要ページを表示し、*[バケットの追加]*をクリックします。



ボタンの詳細を示すスクリーンショット。"]

_Add bucket_pageが表示されます。



ページのスクリーンショット。"]

2. [Add bucket]ページで、バケットの作成に必要な情報を入力し、*[Apply]*をクリックします。

- バケットに使用する名前を入力します。
- バケットの所有者になるAWSアカウントを選択します。これは、コネクタがデプロイされたプライマリアカウントにすることも、にすることもできます ["BlueXPに追加した別のアカウント"](#)。
- バケットを作成するAWSリージョンを選択します。
- 必要に応じて、バケットでS3オブジェクトロックを有効にして、Write-Once-Read-Many (WORM) モデルを使用してオブジェクトを格納できます。オブジェクトロックを使用する場合は、バケットの作成時に有効にする必要があります。オブジェクトロックを有効にすると、バージョン管理も有効になります。 ["オブジェクトロックの詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください"](#)。

バケットが作成されます。

次のステップ

最初にバケットを追加するときに、バージョン管理、タグ、暗号化を手動で設定することはできません。バケットの作成後、バケットのこれらの他のプロパティを設定できます。 ["バケット設定の変更について詳しくは、こちらをご覧ください"](#)。

S3バケットの設定を変更します

Amazon S3作業環境がキャンバスで使用可能になったら、一部のバケットプロパティをBlueXPから直接変更できます。

バケット名、AWSアカウント、リージョン、オブジェクトのロック設定は変更できません。

次のバケットプロパティを変更できます。

- バケット内のすべてのオブジェクトでバージョン管理が有効になっているか無効になっているか。
- バケットに追加されるオブジェクトにタグを適用することもできます。
- バケットに追加された新しいオブジェクトを暗号化するかどうか、および暗号化に使用するオプション。

これらのバケット設定は、をクリックしてBlueXPから直接変更できます [...](#) バケツのために。

Bucket Name	AWS Account	Region	Creation Date	Encryption	Is Public	
compliance-dataset22	7599954	US West (Oregon)	March 1, 2020	Enabled ⓘ	Bucket and ob	⋮
fabric-pool-8b18cf1e-6d64	7599954	US West (Oregon)	March 24, 2020	Enabled ⓘ	Bucket a	View details
motor-vehicle-bucket01	7599954	US West (Oregon)	June 3, 2020	Enabled ⓘ	Objects	Edit versioning
fabric-pool-a548f122-a681	7599958	US West (Oregon)	June 5, 2020	Enabled ⓘ	Objects	Edit tags
motor-vehicle-bucket64	7599958	US West (Oregon)	June 10, 2020	Enabled ⓘ	Objects	Edit encryption

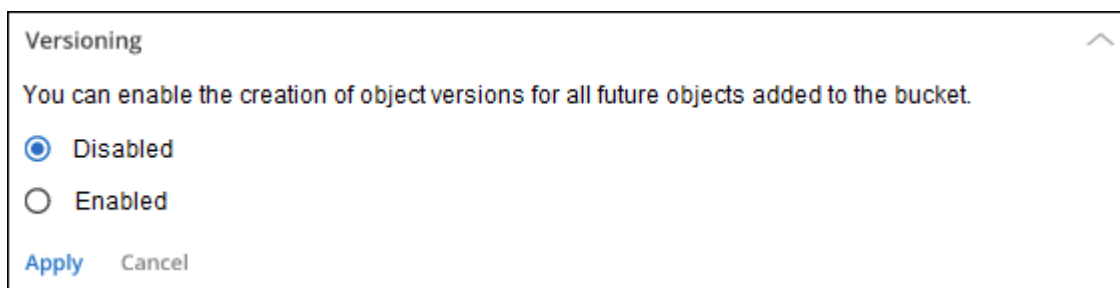
ボタンを選択してバケットのプロパティを編集する方法を示すスクリーンショット。"]

バージョン設定を変更します

バージョン管理では、誤って削除または上書きされたオブジェクトをリストアできるように、オブジェクトの複数のバージョンをバケットに保持することができます。以降のオブジェクトがバケットに追加されるたびに、バージョン管理設定を変更できます。バージョン管理の設定を変更しても、既存のオブジェクトの値は変更されません。

BlueXPで作成される新しいバケットでは、バケットの作成時にオブジェクトロックを有効にしていなかったかぎり、バージョン管理はデフォルトで無効になります。"[バージョン管理の詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください](#)"。

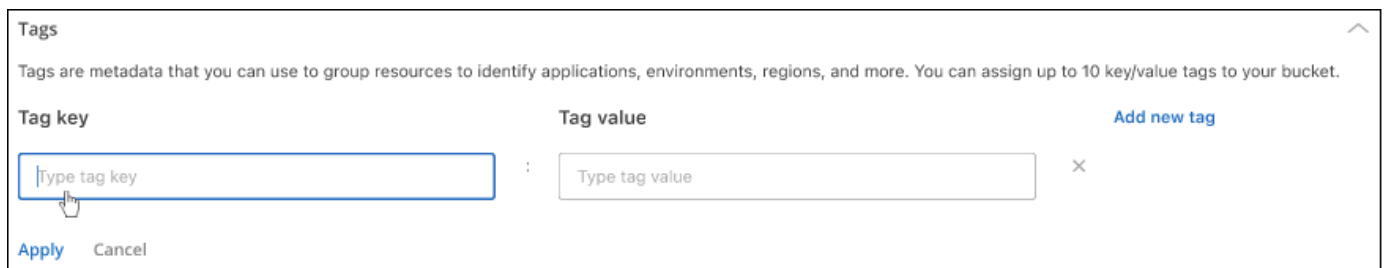
有効にすると、バージョン管理を一時的または永続的に停止する場合は、「一時停止」状態を選択できます。一度有効にすると、バージョン管理を無効にすることはできません。



バケット内のオブジェクトのタグを追加または変更します

タグは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウドプロバイダなどを特定するためのメタデータです。タグは、タグキーとタグ値で構成されます。バケットにタグを追加して、バケットに追加されたオブジェクトにタグが適用されるようにすることができます。タグおよびタグ値を変更および削除することもできます。

BlueXPで作成される新しいバケットでは、タグはデフォルトで無効になっています。"[タグ付けの詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください](#)"。



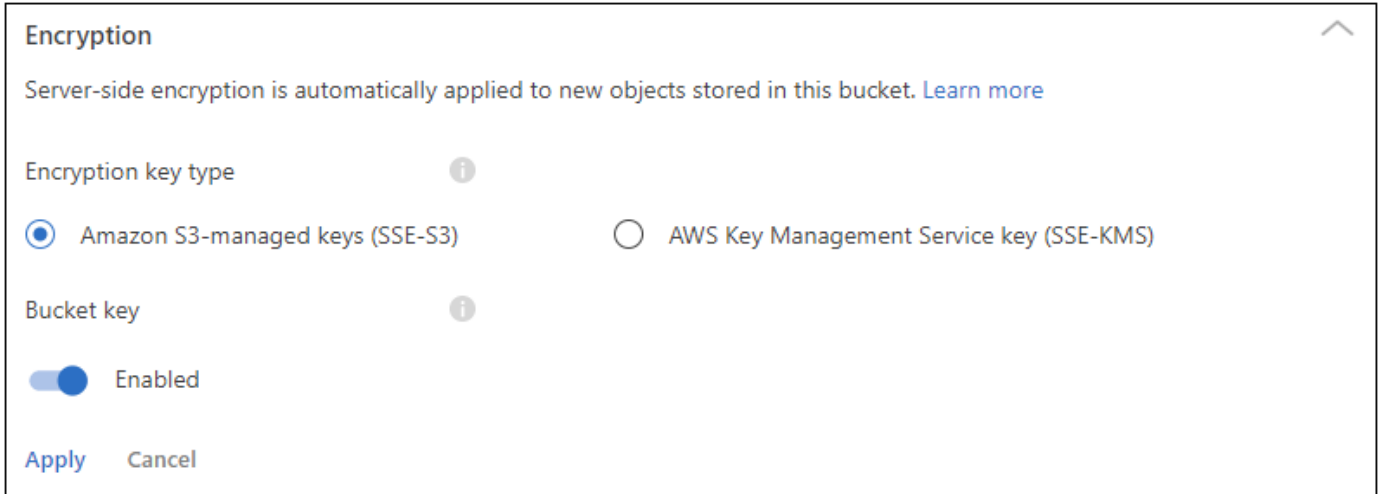
タグを追加したら、適用*をクリックして変更を保存します。さらにタグを追加する場合は、[新しいタグの追加]*をクリックします。バケットあたり最大10個のタグを追加できます。

暗号化設定を変更します

サーバ側の暗号化を使用すると、Amazon S3デスティネーションのデータを暗号化できます。Amazon S3は、ディスクへの書き込み時にオブジェクトレベルでデータを暗号化し、アクセス時に復号化します。以降のオブジェクトがバケットに追加される時に使用される暗号化設定を変更できます。

BlueXPで作成された新しいバケットでは、「Amazon S3 Managed Keys (SSE-S3)」を使用して暗号化がデフォルトで有効になります。"サーバ側の暗号化の詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください"。

または、「AWS Key Management Service key (SSE-KMS)」を使用して暗号化を有効にすることもできます。独自のキー (SSE-C) を使用して暗号化することもできますが、BlueXP UIではこの機能を使用できません。Amazonインターフェイスを使用する必要があります。



Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type ⓘ

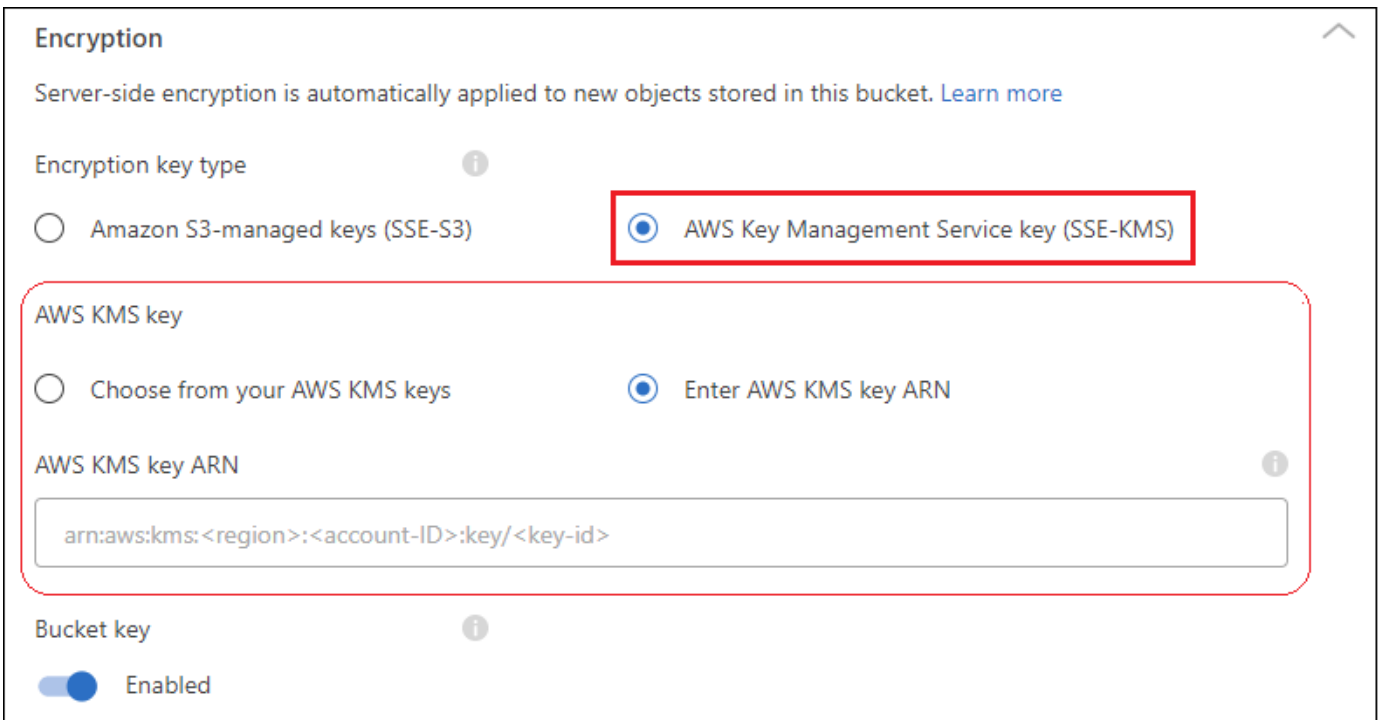
Amazon S3-managed keys (SSE-S3) AWS Key Management Service key (SSE-KMS)

Bucket key ⓘ

Enabled

[Apply](#) [Cancel](#)

「AWS Key Management Service key (SSE-KMS)」を選択した場合は、作成済みのAWS KMSキーを選択するか、AWS KMSキーARN (Amazon Resource Name)を使用できます。



Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type ⓘ

Amazon S3-managed keys (SSE-S3) AWS Key Management Service key (SSE-KMS)

AWS KMS key

Choose from your AWS KMS keys Enter AWS KMS key ARN

AWS KMS key ARN ⓘ

arn:aws:kms:<region>:<account-ID>:key/<key-id>

Bucket key ⓘ

Enabled

"AWS Key Management Serviceの詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください"そして約 "お客様のキーを使用するか、AWSのキーを使用するか"。

S3バケットでネットアップデータサービスを使用

BlueXPでS3バケットを検出したら、ネットアップのデータサービスを使用してバックアップ、階層化、分類、データ同期を実行できます。

- BlueXPのバックアップとリカバリ*を使用して、オンプレミスのONTAP システムやCloud Volumes ONTAP システムからS3オブジェクトストレージにデータをバックアップできます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAP またはCloud Volumes ONTAP 作業環境をAmazon S3作業環境にドラッグアンドドロップします。

"Amazon S3ストレージへのONTAP データのバックアップの詳細については、こちらをご覧ください"。

- BlueXP階層化*を使用して、アクセス頻度の低いデータをオンプレミスのONTAP クラスタからS3オブジェクトストレージに階層化できます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAP 作業環境をAmazon S3作業環境にドラッグアンドドロップします。

"ONTAP データをAmazon S3ストレージに階層化する方法については、こちらをご覧ください"。

- BlueXPのコピーと同期*を使用してS3バケットとの間でデータを同期します。

作業を開始するには、Canvasに移動し、ソースの作業環境をターゲットの作業環境にドラッグアンドドロップします。Amazon S3作業環境はソースでもターゲットでもかまいません。

Amazon S3作業環境を選択し、[サービス]パネルの*[コピーと同期]*をクリックして、S3バケットとの間でデータを同期することもできます。

"BlueXPのコピーと同期サービスの詳細については、こちらをご覧ください"。

- BlueXP分類*を使用してS3バケットをスキャンし、個人データと機密データを検出します。BlueXPの分類では、NetApp解決策用に作成されたバケットかどうかに関係なく、アカウント内の任意のバケットをスキャンできます。

開始するには、Amazon S3作業環境を選択し、[サービス]パネルの*[分類]*セクションから適切なオプションを選択してS3バケットのスキャンを開始します。

"BlueXP分類サービスの詳細については、こちらをご覧ください"。

知識とサポート

サポートに登録します

BlueXPとそのストレージソリューションおよびサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウドプロバイダのファイルサービスでNetAppのサポートは有効になりません。クラウドプロバイダのファイルサービスとそのインフラ、またはサービスを使用する解決策に関連するテクニカルサポートについては、該当する製品のBlueXPドキュメントの「困ったときは」を参照してください。

- ["ONTAP 対応の Amazon FSX"](#)
- ["Azure NetApp Files の特長"](#)
- ["Cloud Volumes Service for Google Cloud"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にする登録には、次の2つの形式があります。

- BlueXPアカウントIDサポートサブスクリプションの登録(BlueXPの[サポートリソース]ページにある20桁の960xxxxxxxxxシリアル番号)。

これは、BlueXP内のすべてのサービスのシングルサポートサブスクリプションIDとして機能します。各BlueXPアカウントレベルのサポート契約が登録されている必要があります。

- クラウドプロバイダのマーケットプレイスでのサブスクリプションに関連付けられているCloud Volumes ONTAPのシリアル番号を登録している(909201xxxxxxxxのシリアル番号)。

これらのシリアル番号は、通常PAY_GOシリアル番号と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAPの導入時にBlueXPによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録することで、サポートチケットのオープンやケースの自動生成などの機能を利用できます。登録を完了するには、以下の手順でNetApp Support Site (NSS) アカウントをBlueXPに追加してください。

NetAppサポートにBlueXPアカウントに登録します

サポートに登録してサポート利用資格をアクティブ化するには、BlueXPアカウントの1人のユーザがNetApp Support SiteアカウントをBlueXPログインに関連付ける必要があります。ネットアップサポートへの登録方法は、NetApp Support Site (NSS) アカウントがあるかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存のお客様

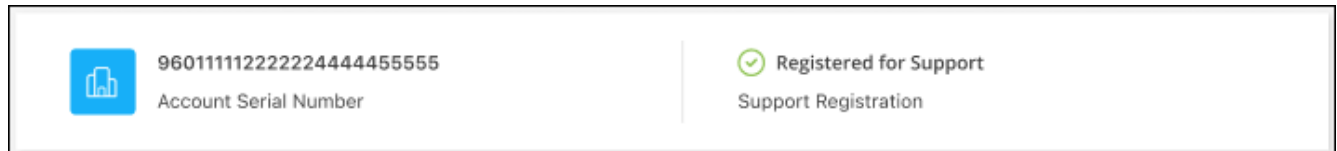
NSSアカウントをお持ちのネットアップのお客様は、BlueXPからサポートに登録するだけで済みます。

手順

1. BlueXPコンソールの右上で、[設定]アイコンを選択し、*[クレデンシャル]*を選択します。

2. [ユーザクレデンシャル]*を選択します。
3. [NSSクレデンシャルの追加]*を選択し、NetApp Support Site (NSS) 認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが正常に完了したことを確認するには、[ヘルプ]アイコンを選択し、*[サポート]*を選択します。

[リソース]ページに、アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。



他のBlueXPユーザにNetApp Support Siteアカウントが関連付けられていない場合、このサポート登録ステータスは表示されません。ただし、BlueXPアカウントがサポートに登録されていないわけではありません。アカウント内の1人のユーザがこれらの手順を実行している限り、アカウントは登録されています。

NSSアカウントを持たない既存のお客様

NetAppの既存のお客様で、ライセンスとシリアル番号は_NO_NSSアカウントしかお持ちでない場合は、NSSアカウントを作成してBlueXPログインに関連付ける必要があります。

手順

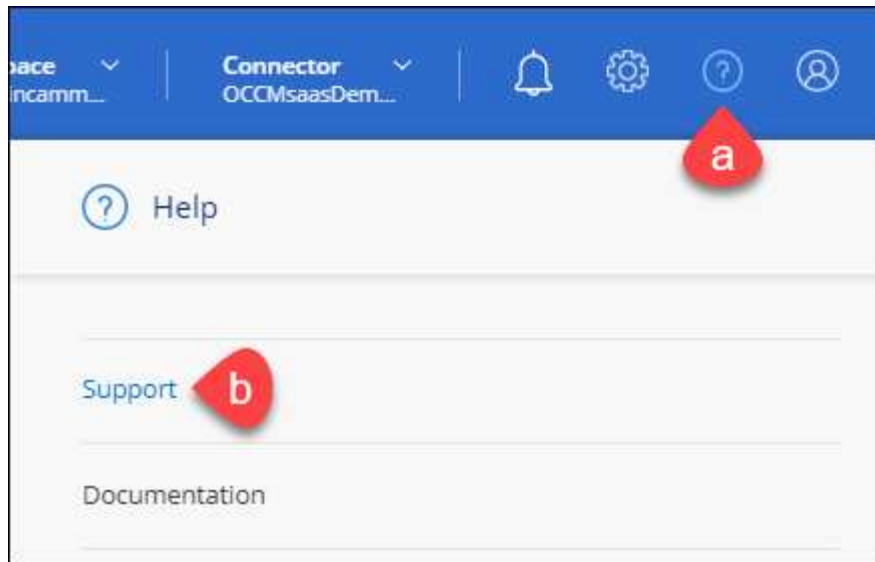
1. を実行してNetApp Support Site アカウントを作成します "[NetApp Support Site ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザレベルを選択してください。通常は*ネットアップのお客様/エンドユーザ*がこれに該当します。
 - b. 必ず、上記のシリアル番号フィールドに使用されているBlueXPアカウントのシリアル番号(960xxxx)をコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. の手順を実行して、新しいNSSアカウントをBlueXPログインに関連付けます [NSSアカウントをお持ちの既存のお客様](#)。

ネットアップのソリューションを初めて導入する場合は

ネットアップ製品を初めてご利用になり、NSSアカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

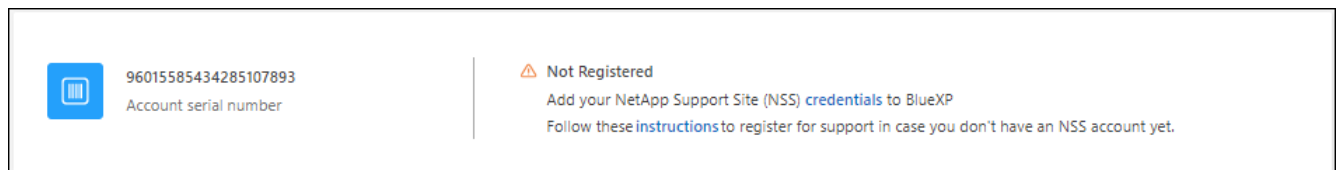
1. BlueXPコンソールの右上で、[ヘルプ]アイコンを選択し、*[サポート]*を選択します。



メニューのスクリーンショット

ト。サポートは最初に表示されるオプションです"]

2. サポート登録ページでアカウントIDのシリアル番号を確認します。



メニューのスクリーンショット。サポートは最初に表示されるオプションです"]

3. に移動します "ネットアップサポート登録サイト" 「ネットアップ登録のお客様ではありません」を選択します。
4. 必須フィールドに入力します（赤いアスタリスクのフィールド）。
5. [製品ライン（Product Line）]フィールドで、[Cloud Manager *]を選択し、該当する課金プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順2からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティチェックを完了して、ネットアップのグローバルデータプライバシーポリシーを確認します。

この安全なトランザクションを完了するために、メールボックスに電子メールがすぐに送信されます。確認メールが数分で届かない場合は、必ずスパムフォルダを確認してください。

7. Eメールからアクションを確認します。

確認ではネットアップにリクエストが送信され、NetApp Support Site アカウントを作成することを推奨します。

8. を実行してNetApp Support Site アカウントを作成します "NetApp Support Site ユーザー登録フォーム"
 - a. 適切なユーザーレベルを選択してください。通常は*ネットアップのお客様/エンドユーザ*がこれに該当します。
 - b. シリアル番号フィールドには、上記のアカウントのシリアル番号（960xxxx）を必ずコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。

完了後

このプロセスについては、ネットアップからご連絡ください。これは、新規ユーザ向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetApp Support Siteアカウントを作成したら、の順序を実行してアカウントをBlueXPログインに関連付けます [NSSアカウントをお持ちの既存のお客様](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートのためにNSSクレデンシャルを関連付けます

NetApp Support Siteで次の主要なワークフローを有効にするには、BlueXPアカウントにクレデンシャルを関連付ける必要がCloud Volumes ONTAPあります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムのサポートを登録しています

お使いのシステムのサポートを有効にし、ネットアップのテクニカルサポートリソースにアクセスするには、NSS アカウントを用意する必要があります。

- お客様所有のライセンスを使用 (BYOL) する場合のCloud Volumes ONTAP の導入

ライセンスキーをBlueXPでアップロードし、購入した契約期間のサブスクリプションを有効にするには、NSSアカウントを提供する必要があります。これには、期間の更新の自動更新も含まれます。

- Cloud Volumes ONTAP ソフトウェアを最新リリースにアップグレードしています

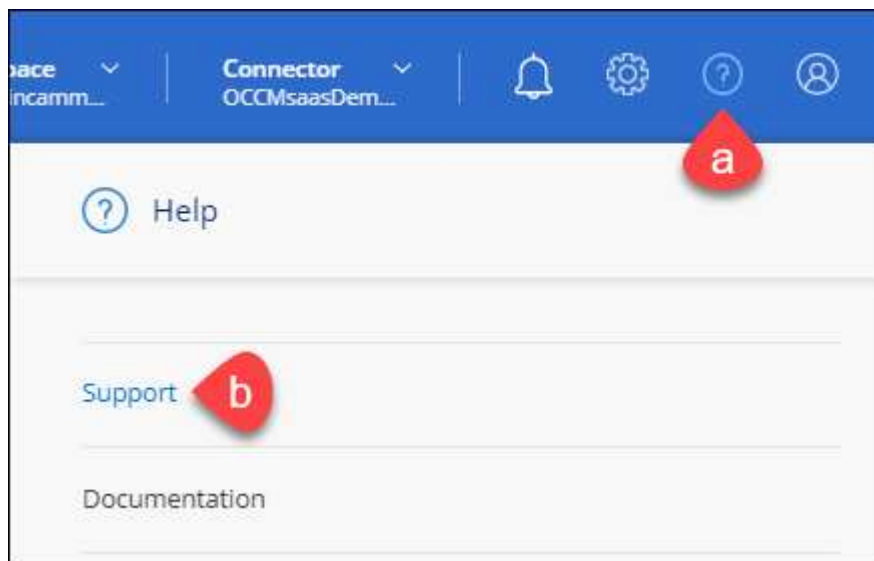
NSSクレデンシャルをBlueXPアカウントに関連付ける方法は、BlueXPユーザログインに関連付けられたNSSアカウントとは異なります。

これらのNSSクレデンシャルは、特定のBlueXPアカウントIDに関連付けられています。BlueXPアカウントに属するユーザは、*[サポート]>[NSS管理]*からこれらのクレデンシャルにアクセスできます。

- お客様レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSSアカウントを追加することもできます。
- パートナーアカウントまたはリセラーアカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSSアカウントを追加することはできますが、お客様レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. BlueXPコンソールの右上で、[ヘルプ]アイコンを選択し、*[サポート]*を選択します。



メニューのスクリーンショット。

サポートは最初に表示されるオプションです"]

2. [NSS Management]>[Add NSS Account]*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、*続行*を選択してMicrosoftログインページにリダイレクトします。

NetAppでは、サポートとライセンスに固有の認証サービスのIDプロバイダとしてMicrosoftエントラIDを使用します。

4. ログインページで、NetApp Support Siteの登録 E メールアドレスとパスワードを入力して認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、BlueXPはライセンスのダウンロード、ソフトウェアのアップグレード検証、および将来のサポート登録などの目的でNSSアカウントを使用できます。

次の点に注意してください。

- NSSアカウントは、お客様レベルのアカウントである必要があります（ゲストアカウントや一時アカウントではありません）。複数のお客様レベルのNSSアカウントを設定できます。
- NSSアカウントがパートナーレベルのアカウントの場合、作成できるNSSアカウントは1つだけです。お客様レベルのNSSアカウントを追加しようとすると、パートナーレベルのアカウントが存在する場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

「別のタイプのNSSユーザーがすでに存在するため、このアカウントではNSS顧客タイプは許可されていません。」

既存のお客様レベルのNSSアカウントがあり、パートナーレベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインに成功すると、ネットアップはNSSのユーザ名を保存します。

これはシステムによって生成されたIDで、電子メールにマッピングされます。[NSS Management]ページで、から電子メールを表示できます [...](#) メニュー。

- ログイン認証情報トークンを更新する必要がある場合は、の[認証情報の更新*]オプションも使用できます [...](#) メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするように求められます。これらのアカウントのトークンは90日後に期限切れになります。このことを通知する通知が投稿されます。

ヘルプを表示します

ネットアップでは、BlueXPとそのクラウドサービスをさまざまな方法でサポートしています。ナレッジベース（KB）記事やコミュニティフォーラムなど、24時間365日利用可能な幅広いセルフサポートオプションをご用意しています。サポート登録には、Webチケット処理によるリモートテクニカルサポートが含まれます。

クラウドプロバイダのファイルサービスのサポート

クラウドプロバイダのファイルサービスとそのインフラ、またはサービスを使用する解決策に関連するテクニカルサポートについては、該当する製品のBlueXPドキュメントの「困ったときは」を参照してください。

- ["ONTAP 対応の Amazon FSX"](#)
- ["Azure NetApp Files の特長"](#)
- ["Cloud Volumes Service for Google Cloud"](#)

BlueXPおよびそのストレージソリューションとサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、以下に記載されているサポートオプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用します

次のオプションは、1日24時間、週7日間無料でご利用いただけます。

- [ドキュメント](#)

現在表示しているBlueXPのマニュアル。

- ["ナレッジベース"](#)

BlueXPナレッジベースで問題のトラブルシューティングに役立つ記事を検索します。

- ["コミュニティ"](#)

BlueXPコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

ネットアップサポートと一緒にケースを作成します

上記のセルフサポートオプションに加え、サポートを有効にしたあとで問題が発生した場合は、ネットアップサポートの担当者と相談して解決できます。

始める前に

- [ケースの作成]*機能を使用するには、最初にNetApp Support SiteクレデンシャルをBlueXPログインに関連付ける必要があります。 ["BlueXPログインに関連付けられているクレデンシャルの管理方法について説明します"](#)。
- シリアル番号のあるONTAPシステムのケースをオープンする場合は、そのシステムのシリアル番号にNSSアカウントを関連付ける必要があります。

手順

1. BlueXPで、*[ヘルプ]>[サポート]*を選択します。
2. **[Resources]**ページで、**[Technical Support]**で次のいずれかのオプションを選択します。
 - a. 電話で誰かと話をしたい場合は、*[電話]*を選択します。netapp.comのページに移動し、電話番号が表示されます。
 - b. [ケースの作成]*を選択して、NetAppサポートスペシャリストとのチケットをオープンします。
 - **Service:**問題 が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、サービス内のワークフローまたは機能を備えたテクニカルサポート問題 に固有のBlueXPなどです。
 - **作業環境:** ストレージに該当する場合は、* Cloud Volumes ONTAP *または*オンプレミス*を選択し、関連する作業環境を選択します。


作業環境のリストは、サービスの上部バナーで選択したBlueXPアカウント、ワークスペース、コネクタの範囲内にあります。

- ケース優先度：ケースの優先度を選択します。優先度は、[低]、[中]、[高]、[クリティカル]のいずれかになります。

これらの優先度の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスポインタを合わせます。

- *事象の説明*：実行したエラーメッセージやトラブルシューティング手順など、問題の詳細な概要を入力します。
- その他のメールアドレス：この問題を他のユーザーに知らせる場合は、追加のメールアドレスを入力します。
- 添付ファイル（オプション）：一度に1つずつ、最大5つの添付ファイルをアップロードできます。


添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。

ntapitdemo 

NetApp Support Site Account

Service Working Enviroment


Select Select

Case Priority 


Low - General guidance



Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional) Upload 

No files selected  

完了後

ポップアップにサポートケース番号が表示されます。ネットアップのサポート担当者がケースを確認し、すぐに対応させていただきます。

サポートケースの履歴を確認するには、*[設定]>[タイムライン]*を選択し、「サポートケースの作成」というアクションを検索します。右端のボタンをクリックすると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

"選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません"

このエラーは、NSSアカウントとそれに関連付けられているレコードの会社が、BlueXPアカウントのシリアル番号(例960xxxx) または動作環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用して、サポートを受けることができます。

- 製品内のチャットを使用します
- テクニカル以外のケースをに送信します <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースの管理（プレビュー）

アクティブなサポートケースと解決済みのサポートケースは、BlueXPから直接表示および管理できます。NSSアカウントと会社に関連付けられたケースを管理できます。

ケース管理はプレビューとして使用できます。今後のリリースでは、この点をさらに改良し、機能を強化する予定です。製品内のチャットでご意見をお寄せください。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の2つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザNSSアカウントによって過去3カ月間にオープンされたケースの総数が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザのNSSアカウントに基づいて、過去3カ月間にオープンしたケースの総数が会社レベルで表示されます。

テーブルの結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 目的の列を追加または削除したり、[優先度]や[ステータス]などの列の内容をフィルタリングしたりできます。他の列には、並べ替え機能だけがあります。

詳細については、以下の手順を参照してください。

- ケースごとに、ケースノートを更新したり、ステータスが「Closed」または「Pending Closed」でないケースをクローズしたりすることができます。

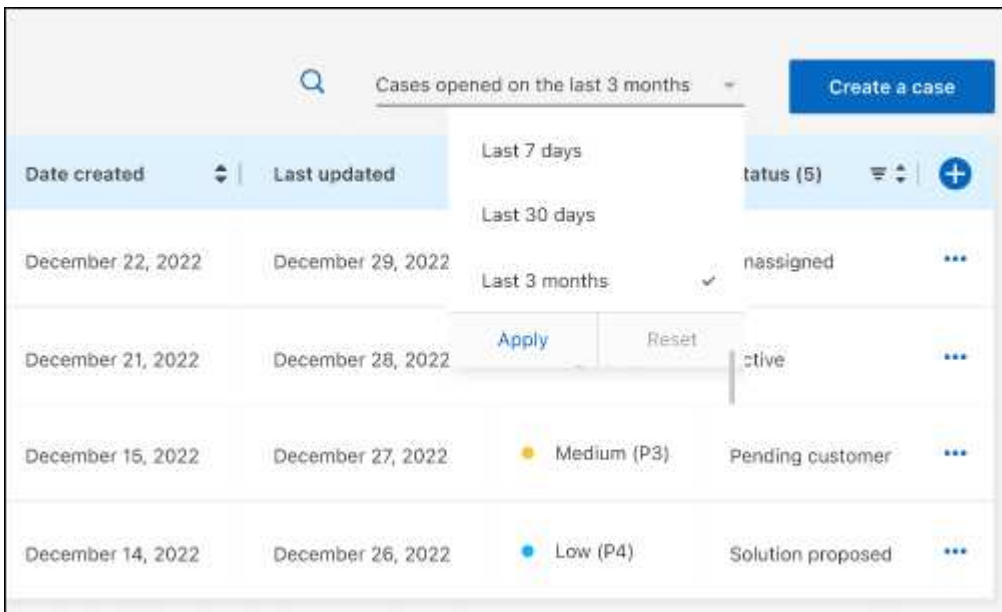
手順

1. BlueXPで、*[ヘルプ]>[サポート]*を選択します。
2. [ケース管理]*を選択し、プロンプトが表示されたらNSSアカウントをBlueXPに追加します。

ケース管理*ページには、BlueXPユーザアカウントに関連付けられたNSSアカウントに関連するオープンケースが表示されます。これは、*NSS管理*ページの上部に表示されるNSSアカウントと同じです。

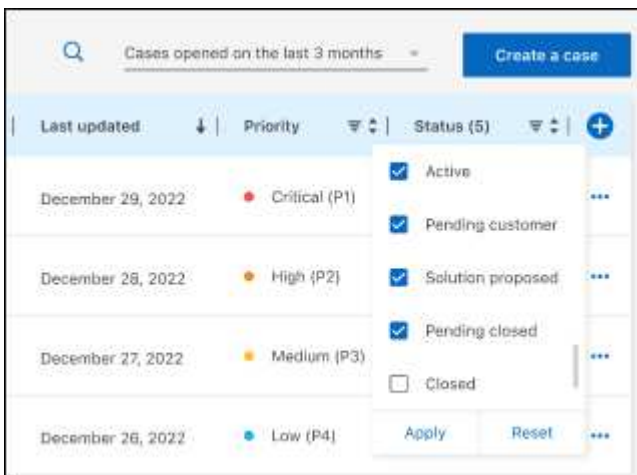
3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。

- [Organization's Cases]*で[View]*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
- 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して、日付範囲を変更します。




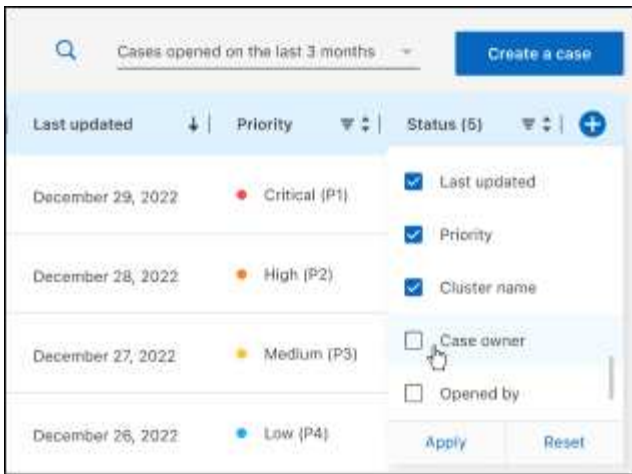
ページのテーブルの上にあるオプションのスクリーンショット。正確な日付範囲、または過去7日、30日、または3か月を選択できます。"]

- 列の内容をフィルタリングします。



列のフィルタオプションのスクリーンショット。[Active]や[Closed]など、特定のステータスに一致するケースを除外できます。"]

- テーブルに表示される列を変更するには、次に、表示する列を選択します。

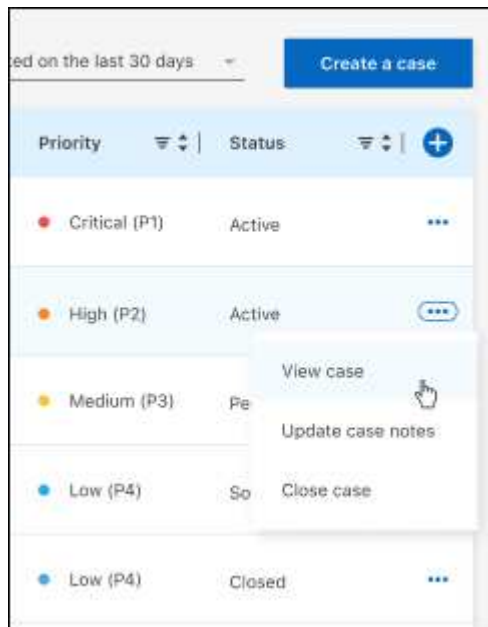


4. 既存のケースを管理するには、... 使用可能なオプションのいずれかを選択します。

- ケースの表示: 特定のケースの詳細を表示します。
- ケースノートの更新: 問題の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード*を選択して最大5つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。

- ケースをクローズ: ケースをクローズする理由の詳細を入力し、*ケースをクローズ*を選択します。



法的通知

著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetApp のロゴ、および NetApp の商標ページに記載されているマークは、NetApp, Inc. の商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

ネットアップが所有する特許の最新リストは、次のサイトで入手できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

["BlueXPに関する注意事項"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。